

# デンカハードロックⅡ

## 弾性グラウト材

### 1 はじめに

「弾性グラウト材」は、硬化後も柔軟性を持ち変形追随性を有する変性アクリル樹脂系のグラウト材です。

低臭気で環境ホルモンを含まない、環境にやさしい樹脂系グラウト材です。

### 2 特徴

- ①低弾性率で硬化層が柔軟性を持ちます。
- ②低粘性で、ポンパビリティーに優れます。
- ③低温硬化性に優れ、0℃の環境下でも硬化します。
- ④環境ホルモン物質ビスフェノールAを含みません。
- ⑤低臭気です。

### 3 用途

- ☆シースグラウト
- ☆目地部充填

### 4 荷姿

18.2kgセット（A剤10kg／B剤0.2kg／骨材8kg）

### 5 材料の性状例

項目	単位	A剤	B剤	骨材	試験方法
硬化前の性状例					
外観	—	淡黄色系粘稠液	紫色系粘稠液	白色粉末	目視
粘度（25℃）	mPa・s	10～300	10～100	—	JIS K 7117-1
混合比率（質量比）	—	100	2	80	—
混合時粘度（25℃）	mPa・s	400～2000			JIS K 7117-1
混合時比重（25℃）	—	1.10			JIS K 7232 準拠
硬化後の性状例					
硬 度	—	E80以下			JIS K 6253 準拠

（測定例）

Denka

## 6 硬化特性例

温度(℃)	0	5	10	15	20	25	30	35
可使時間	7時間	4時間	2.5時間	80分	60分	30分	20分	15分
硬化時間	15時間	8.5時間	5.5時間	160分	120分	65分	45分	35分

(測定例)

## 7 使用方法

- (1) A剤、B剤と骨材の混合 **<1セットを全量混合>**
  - ① 25～30L程度の缶などにA剤を全量投入してください。
  - ② ハンドミキサーで混合しながら骨材を徐々に添加し、骨材を全量添加してからさらに2分間よく混合してください。
  - ③ B剤を全量加え、ハンドミキサーで2分間よく混合してください。混合液の色にムラがある場合は、ムラがなくなるまで混合してください。
- (2) 充填
  - ・ グラウトポンプなどの器材により注入・充填してください。
  - ・ 充填作業は可使時間内に完了するようにしてください。
- (3) 洗浄
  - ・ 作業後、弾性グラウトが付着した器材を洗浄溶剤（アセトン）で速やかに洗浄してください。

## 8 注意事項（ご使用前に必ずお読みください）

- (1) 弾性グラウト材の取り扱い時は火気厳禁です。
  - ※弾性グラウト材A剤：消防法危険物第4類引火性液体第3石油類（非水溶性）
  - 弾性グラウト材B剤：消防法危険物第4類引火性液体第2石油類（非水溶性）
  - 洗浄溶剤（アセトン）：消防法危険物第4類引火性液体第1石油類（水溶性）
- (2) 弾性グラウト材の取り扱い時には、保護メガネ、保護手袋（耐有機溶剤性）などを着用してください。軍手は液体がしみ込むので着用しないでください。
- (3) 下記注意事項、警告をお読みください。
- (4) 余った弾性グラウト材は適当な容器や袋に移し、硬化した後で産業廃棄物として処理してください。製品の容器も同様に廃棄してください。

**警告**

●ハードロックⅡは消防法の危険物に相当しますので作業場は火気厳禁としてください。

●一度に多量の接着剤を硬化させると激しい発熱が生じますので注意してください。

●皮膚や衣服に付着するとかぶれる恐れがありますので早めに石鹸で洗ってください。万一かぶれた場合は医師の手当てを受けてください。

●作業場所は換気を良くし、保護眼鏡、保護手袋、必要に応じて有機ガス用マスク等の保護具を着用してください。

●目に入れたり、飲んだり絶対にしないでください。誤って目に入った場合、15分以上流水で洗浄し、医師の手当てを受けてください。また、誤飲した場合、吐かせて医師の手当てを受けてください。

●湿気や金属との接触を避け、密栓の上冷暗所に保存してください。

●廃棄する場合は、A/B剤を少量づつ混合し硬化させてから捨ててください。また混合し、硬化した(硬化中)の樹脂は廃棄するまで水の中に浸漬させてください。

●接着剤が付着した可燃物(ウエス、段ボール、養生シート等)、注入用器具も廃棄するまで水に浸漬させて下さい。

●本製品の硬化物をディスクサンダー等で研磨した場合、研磨した粉末を集めたまま放置すると自然発火のおそれがあります。積もった研磨粉は、掃除機は使用せずに、ほうき等で集めた上、廃棄するまで十分な水に浸けておき、早めに専門の廃棄物処理業者に処理を委託して下さい。

**自然発火の注意**

- ・ディスクサンダー等による研磨粉は掃除機は使用せずほうき等で集めて十分な水に漬けて廃棄してください。
- ・樹脂の付着したウエス、ダンボール、ローラー、刷毛等は十分な水に浸漬させて廃棄して下さい。
- ・硬化時に発熱を伴います。

◇データ等記載内容についてのご注意◇

- 本書記載のデータ等記載内容は、代表的な実験値や調査に基づくもので、その記載内容についていかなる保障をなすものではありません。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前に試験を行い、使用目的に適合するかどうかおよび安全性について貴社の責任においてご確認ください。
- 本書記載の当社製品およびこれらを使用した製品を廃棄する場合は、法令に従って廃棄してください。
- ご使用になる前に、詳しい使用方法や注意事項等を技術資料・安全データシートで確認してください。これらの資料は、弊社の営業担当部門で用意しておりますので、お申しつけください。
- 本書の記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。

**Denka**

デンカ株式会社 インフラ・無機材料部門 特殊混和材部

〒103-8338 東京都中央区日本橋室町2-1-1

電話 03-5290-5363 FAX 03-5280-5085